

みどり

水土里ネットおきなわ



令和2年の農業農村整備の進展をめざして

CONTENTS

- | | | | |
|-------------------------|----|--------------------------------|----|
| ・表紙 | 1 | ・「おきなわ農業農村の集い」開催 | 11 |
| ・新年のご挨拶（水土里ネットおきなわ会長） | 2 | ・第55回通常総会の開催 | 11 |
| ・年頭挨拶（沖縄総合事務局長） | 3 | ・九州協議会合同政策提案会 | 12 |
| ・年頭のあいさつ（沖縄県知事） | 4 | ・換地事務新規担当者研修会 | 12 |
| ・新年にあたって（全国水土里ネット会長） | 5 | ・「令和元年度多面的機能支払交付金全国研究会」への参加 | 13 |
| ・新年のご挨拶（全国水土里ネット会長会議顧問） | 7 | ・九州「農地・水・環境保全フォーラム」 in 鹿児島への参加 | 13 |
| ・新年のご挨拶（全国水土里ネット会長会議顧問） | 8 | ・水土里情報システムについて | 14 |
| ・監査の実施 | 10 | ・第42回全国土地改良大会岐阜大会開催 | 15 |
| ・監査会、理事会の開催 | 10 | ・第43回全国土地改良大会群馬大会（予定） | 15 |



新年のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

会員及び農業農村整備事業関係者の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

平素より農業農村整備事業の推進ならびに本会の運営につきまして、格別なるご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年も自然災害が全国的に発生しました。沖縄県においては、自然災害に強い農業・農村整備を着実に進めていくことが重要であることをしっかりと共有して、新たな一年を進めていきましょう。これに関して、国においては、「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が令和元七月から施行され、「食料・農業・農村基本計画」の見直しに向けた検討も始まっています。また、予算では、重要インフラの緊急点検等を踏まえた「防災・減災、国土強靱化のための三カ年緊急対策」が令和二年度まで盛り込まれているとともに、新たな事業制度も拡充されております。

会員の皆様においては、様々なソフト・ハード事業を活用した農業・農村振興のための役割がさらに重要となり、農地有効活用の推進や農業用施設の老朽化に伴う維持管理等も加わって、業務量はますます増えていくことが予想されます。

当会では、今後とも、関係機関および会員相互の連携を図りながら、必要となる支援を提案し、本県の農業農村整備事業の推進のため、より高度で洗練された技術・情報集団となるよう、積極的に取り組んで参りますので、関係機関の皆様におかれましては、なお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、会員の皆様をはじめ関係各位のご健勝とますますのご活躍を祈念致しまして、新年のご挨拶と致します。

沖縄県土地改良事業団体連合会
会長 古謝 景春

年頭挨拶



令和2年の新春を迎えるに当たり、謹んで新年の御祝詞を申し上げます。
水土里ネットおきなわの会員及び役職員の皆様には、日頃から農業農村整備の推進に御尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

昨年も全国各地で、度重なる豪雨、台風等の自然災害により、農地、農業用施設に多大な被害がもたらされ、沖縄においては、台風や豪雨により、主に離島において被害がみられました。水土里ネットおきなわを始め、各土地改良区、自治体の皆様におかれましては、こうした気象災害に対して迅速かつ適切に対応し、被害の抑制に努めていただいたことについて、敬意を表するところであります。

さて、気象災害のみならず、農業・農村を取り巻く現状は厳しさを増しており、農業従事者の減少や高齢化が進行するなか、沖縄県においては、いまだに多くの耕作放棄地が存在するなどの課題に直面しております。

このような中、水土里ネットおきなわの皆様には、担い手確保のための農地集積・集約化と荒廃農地の再生に向けて、農地中間管理機構と連携した取組を推進していただいているところです。また、複式簿記導入による経理体制の強化に向けて、各土地改良区が精力的に取り組んでいただいていることに感謝申し上げますとともに、今後も円滑に運営が進められるように支援していく所存です。

沖縄総合事務局といたしましては、沖縄県、市町村、土地改良区等の皆様と連携し、沖縄の自立的発展のために、農林水産振興、産業振興及び観光振興も含めた各種施策を推進し、力強い沖縄の農業の実現に取り組んでまいります。

さらに、現在、国営土地改良事業の実施地区である「宮古伊良部地区」、「石垣島地区」及び「宮古地区」においては、事業効果の早期発現を目指して事業を推進しているところです。これらの事業の円滑な推進には関係機関の皆様の御力添えが不可欠となりますので、より一層の御支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、沖縄県の農業・農村の更なる発展・飛躍とともに、水土里ネットおきなわを始め、沖縄県内の農業農村整備に携わっておられる皆様の御健勝を祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。

内閣府沖縄総合事務局長
吉住 啓作



年頭のあいさつ

はいさい、ぐすーよーちゅーうがなびら。

オリンピックイヤーとなる2020年、^{みどり}水土里ネットおきなわの皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から沖縄県の農業農村整備の推進に御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨年の沖縄県は、観光や雇用関連の指標が前年を上回るなど景気の拡大が続き、経済は好調といえる年でした。

一方では、琉球・沖縄の歴史と文化の象徴として、県内外多くの皆様へ親しまれてきた「首里城」の正殿等が焼損するという、大変衝撃的な出来事が起こりました。このことに対し、多くの皆様から温かいお言葉や御支援を賜っておりますことに、心から感謝申し上げます。

県としましては、首里城の1日も早い復旧・復興に向けて、今後とも全力で取り組んでまいりますので、引き続き皆様の御支援と御協力をお願い申し上げます。

さて、沖縄県では、昭和47年度から始まった沖縄振興開発計画や沖縄振興計画に基づき、農業用水源やかんがい施設、ほ場整備等の基盤整備が重点的に行われ、県内農業の基盤を支える施設の整備率は概ね5～6割に達しています。

しかしながら本県は、離島市町村を多く有する島しょ県であることに伴う農業用水の確保の問題や、度重なる台風・干ばつなどの自然災害の発生への対応、また農業従事者の減少・高齢化の進行など、依然として克服すべき多くの課題が残されています。

県としましては、今後とも「沖縄21世紀ビジョン」に示された「希望と活力にあふれる豊かな島」の実現に向けて、地域特性に応じた新たな農業用水源やかんがい施設に加え、防風林などの施設を整備し、特色ある農業の振興を図るとともに、農山漁村の多面的機能の発揮及び利活用に向け、地域の魅力ある素材の発掘や地域特性を生かしたグリーンツーリズムの推進に取り組んでまいります。

^{みどり}水土里ネットおきなわの皆様におかれましては、引き続き、一層の事業展開と、会員に対する技術的指導や支援体制の充実など、沖縄県の農業農村整備にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

結びに、本年が貴会にとって実り多い躍進の年となるとともに、皆様の益々の御健勝・御活躍を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

くとうしん ゆたさるぐとう うにげーさびら。

沖縄県知事 玉城 デニー

新年にあたって



令和二年の年頭に当たり、土地改良に携わる全国の皆様に、謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

去年は、六月、八月の大雨、さらに台風第十五号、第十九号による暴風雨等により、全国各地で非常に多くの災害が発生しました。お亡くなりになられた方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災をされた多くの皆様に、衷心よりお見舞いを申し上げます。

また、復旧・復興のために、被災地の最前線に立って日夜ご尽力頂いている多くの土地改良関係の皆さまに心から敬意を表しますとともに、厚く御礼を申し上げます。

さて私は、本会の会長に就任して以来、「闘う土地改良」を掲げて参りました。そして組織一丸となって闘った結果、平成から新しい元号「令和」となる大きな節目の年に、補正予算などを含めまして、大幅削減前を大幅に上回る予算を確保することが出来ました。

令和二年度予算につきましては、農業農村整備の着実な推進を求める全国の皆様からの熱意ある要請活動により、政府予算案においては、昨年度当初予算を上回る四千四百三十三億円を確保することができました。さらに、令和元年度の補正予算・臨時特別措置枠を含めると六千五百十五億円となります。皆さまの活動に深く敬意を表しますと共に、心から御礼を申し上げます。

また、昨年七月の参議院選挙におきましては、宮崎雅夫君が強豪ひしめく厳しい闘いの中、見事、勝利を勝ち取りました。進藤金日子参議院議員とともに、土地改良にとって実に十二年ぶりの「車の両輪体制」が実現したわけです。

このように土地改良は、新しい元号「令和」の幕開けにふさわしいスタートを切ったわけであります。これも一重に「闘う土地改良」の旗印の下、組織一丸となって闘った結果であり、皆様方の御協力の御陰であります。

いま、全国の農業農村では、過疎化・高齢化、担い手不足に加え、地域活力の低下などの課題が山積しております。また、コメなどを巡る先行き不安から、状況が一段と厳しくなっております。一方で、全国で農業水利施設の老朽化が進行しており、食料生産の増大、非食料用米への転換に支障を来すばかりでなく、国民の生命や財産にも多大な損害をもたらすのではないかと危惧されております。特にここ数年は大規模な風水害により、農地・農業用施設でも大変大きな被害が続いており、平成三十年の七月豪雨では、全国で三十二カ所のため池が決壊し、

尊い人命も犠牲になるなど未曾有の被害が発生しました。

これらの農業農村の危機的な事態に鑑み、二年続けて土地改良法が改正されるとともに、老朽化したため池の整備について抜本的な施策を講ずるため、長年の懸案であった「農業用ため池の管理及び保全に関する法律」が国会で成立、施行されました。さらにいま、政府・与党では「食料・農業・農村基本計画」の見直しも議論されているところであります。

私たち土地改良担当者としましては、これら政府の動きと軌を一にして、これまで培ってきた技術と蓄積された経験を活用し、「闘う土地改良」を活動の基本におきつつ積極的に貢献していくことが重要であると考えており、加えて、水土里ネットが農業農村を守り、発展させていくことの重要性について広く国民の皆様にもアピールし、共感を得ていく努力が必要と考えます。皆様と一体となって取り組み、所期の成果が得られますよう、引き続き奮闘して参りたいと思います。

最後になりますが、本日、輝かしい年の初めに当たり、本年も農業農村が活力を得て、一層発展しますようご期待申し上げますとともに、本年が全国の皆様にとってよき年であり、日々健やかに過ごされますようご祈念申し上げます、私の新年のご挨拶といたします。

全国土地改良事業団体連合会
会長 二階 俊博

新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。皆様には輝かしい新年を迎えられたことと心からお慶び申し上げます。昨年は、「令和」の御代に移り、多くの国民が寿ぐ中で天皇陛下が御即位されました。「令和」の時代が平和で穏やかであるようにあらためてご祈念申し上げます次第です。他方、昨年も多くの自然災害が発生しました。被災された全ての方々に心からお見舞い申し上げます。今年こそは災害の無い年になるように祈念して止みません。

今年、東京オリンピック・パラリンピックが開催され、総務大臣政務官としての私の担務である「国勢調査」（初回開始後百周年）も行われます。多くの国家的な行事の成功に向けて、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

さて、昨年末に令和元年度補正予算と令和2年度当初予算の政府原案が閣議決定されました。土地改良予算としては、総額で6,515億円（対前年度比64億円増）を確保できました。これも偏に、農業の競争力強化と美しい農山村の形成に不可欠な土地改良の実施に向けての現場からの強い要請と関係者の皆様の熱意を政府と与党にしっかりと受け止めていただいた結果です。貴重な予算が一日も早く現場に届くよう、今次通常国会で早期成立に向けて努力してまいります。

今回の予算の特徴は、引き続き「国土強靱化」に重点が置かれたこと、水田の高度利用対策が更に重点化されたこと、農業の競争力強化に加えて中山間地域等の条件不利地域の振興対策が手厚く措置されたことだと捉えています。予算の増額措置により土地改良が更に促進されますが、貴重な予算を効率的、効果的に執行し、土地改良に対する国民の皆様の期待に応えていくことが重要です。

昨年末、自民党農村基盤整備議員連盟総会において、ため池の整備促進を図る特別措置法を議員立法として検討することが提案・了承されました。ため池の保全管理を図る法律は、昨年制定・施行されましたが、整備促進に関する多くの課題が現場から提起されています。現場の実態に真摯に耳目を集めつつ検討を深め、与野党問わず多くの国会議員のご理解を得るべく努力してまいります。

皆様、ご案内のとおり私の同志である宮崎雅夫さんも参議院議員として活躍しております。これも皆様方のご理解とご支援の賜物です。宮崎議員と私とが水鳥の強固な水掻きとしてフル稼働して、皆様と連携しながら「闘う土地改良」を共闘し、引き続き諸課題の解決とともに令和の新たな時代を切り拓くべく専心努力してまいります覚悟ですので、ご指導とご支援を宜しくお願い申し上げます。

貴会の益々のご発展と本年が皆様にとってご家族共々素晴らしい一年となりますよう心からお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

全国水土里ネット会長会議顧問

しんどう かねひこ
進藤 金日子



新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。

沖縄県の土地改良関係の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、私にとっての昨年は大きな前進の年でありました。一昨年1月から、土地改良の推進、農山漁村の振興のため、地球8周分に当たる30万キロ以上を移動しながら全国各地をお伺いし、地域の状況を自分の目で見て、皆様からのご意見を自分の耳で聞き、私の考えを自分の口で話をさせていただくなどの政治活動を行ってまいりました。沖縄県の皆様をはじめ全国の皆様からご支援をいただき、お陰様をもちまして昨年7月末の参議院議員通常選挙において当選の栄に浴することができました。

当選後、8月1日に召集された臨時国会で初登院し、10月4日に召集された臨時国会では、農林水産委員会、決算委員会、地方創生及び消費者問題に関する特別委員会、資源エネルギーに関する調査会に所属しております。農林水産委員会等で3度質問に立たせていただき、土地改良の推進や予算の確保などこれまでの活動中皆様から頂いたご意見を私の質問として農林水産大臣等にしっかり伝えました。党での各種部会での発言なども含め、皆様と国政を繋ぐパイプとしての役割を果たせるよう日々努力してまいります。

昨年も残念ながら一連の自然災害により、農地や農業用施設も全国各地で大きな被害が広範囲で発生いたしました。早期の復旧はもちろんですが、土地改良の農村で果たす大きな役割で踏まえ、防災・減災、国土強靱化の取り組みを強力に進めていかなければなりません。

特に沖縄県は、大規模な台風の常襲地であり、ため池の耐震対策・豪雨対策などのハード面やハザードマップの整備などのソフト面の対策は待ったなしです。政府の「防災・減災、国土強靱化のための3カ年緊急対策」による集中的な取り組みが終了する令和2年度以降も更に取り組みが促進するよう全力で取り組んでまいります。

そして、それぞれの地域農業が発展するための基礎となる基盤整備は、着実に進めていかなければなりません。省力化だけではなく若者の興味も高めるスマート農業は平地のみならず中山間地も推進していく必要があります。そのためには情報基盤の整備を含め基盤整備は欠かすことのできないものです。

これらの計画的な実施には、土地改良予算の安定的な確保が必要不可欠です。皆様からの大変大きなご支援により、令和2年度は、6,515億円を確保することが

できました。今後ともこの流れを止めることのないよう尽力してまいります。

また、産業政策だけではなく、家族農業や中小規模の農家、兼業農家の役割を再確認しつつ、地域農業、農村集落自身を守っていくための地域政策をバランスよく実施していかなければなりません。農政の基本となる食料・農業・農村基本計画の5年に一度の見直しが進められていますが、その中にもしっかりと位置づけられる必要があります。

私は「土地改良、農山漁村は未来への礎」と訴えてまいりました。令和の新しい時代に皆様のご意見を伺いながら土地改良を推進することにより、世界に誇る我が国のすばらしい農山漁村を子供たち孫たちに引き継げるよう、先輩の進藤金日子参議院議員と力を合わせて努力をしてまいります。12年ぶりに土地改良二人体制となり、人口減少社会に突入した我が国の状況を踏まえ、土地改良も必要な見直しも大胆に進めていきたいと考えております。また、農村女性の創造力や企画力、行動力などは、これからの農村振興を加速する重要な原動力と考えています。昨年12月には「全国水土里ネット女性の会」が設立されたところであり、今後の活発な活動に私もお手伝いをさせていただきたいと思っています。引き続き進藤議員と私にご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願いいたします。

今年は、2020東京オリンピック・パラリンピックが開催され、更に多くの外国人の方が日本に来られることが期待されています。日本の農業、農村のすばらしさを皆様どんどん発信してまいりましょう。

最後に、本年が皆様にとってよりよい一年となりますようお祈り申し上げ、年頭のあいさつといたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

都道府県水土里ネット会長会議顧問

宮崎 雅夫

監査の実施

令和元年7月29日（月）、午後2時より当会1階会議室にて平成30年度決算監査が実施されました。また、同年11月28日（木）には、本所および宮古支所において令和元年度中間監査が行われました。それぞれ概ね良好である旨の監査結果を頂きました。



平成30年度決算監査



令和元年度中間監査(宮古支所)

監事会の開催

令和元年度、監事会は7回開催されました。令和元年7月29日、平成30年度決算監査の前後に第2回、第3回が、10月15日に第5回（第3回理事会の前）、11月28日に第6回（平成元年度中間監査の前）、令和2年2月4日に第7回（第4回理事会の前）がそれぞれ開催されました。



第2回監事会



第5回監事会



第7回監事会

理事会の開催

令和元年は、4回開催されました。10月15日（火）午後4時30分より、令和元年度第3回理事会が開催されました。古謝景春会長を議長として、第1号議案「平成30年度事業報告、一般会計、特別会計収入支出決算及財産目録の承認について」等6つの議案が審議されすべて可決されました。

令和2年2月4日（火）午後2時30分より、第4回理事会が開催されました。第1号議案「令和元年度一般会計、特別会計収入支出補正予算（案）について」を含む13の議案が審議され、すべて可決されました。



第3回理事会



第4回理事会

「おきなわ農業農村整備の集い」開催

令和元年11月18日（月）に、当連合会4階会議室にて「おきなわ農業農村整備の集い」が開催され、沖縄県全域より約120名の農業農村整備関係者が一堂に結集しました。

集いでは、当会、古謝景春会長の挨拶に始まり、来賓祝辞、成果を作り出すコミュニケーション・信頼関係を築く人間力についての講演が行われました。その後、当会職員による「令和2年度農業農村整備予算の確保に関する要望書」の朗読が行われ、満場一致で要望書は採択となり、令和元年度 おきなわ農業農村整備の集いは盛会裡に終了しました。



会場の様子



講演



要望書朗読



がんばろう三唱

第55回通常総会開催

令和元年2月19日（水）午後2時より、本会4階大会議室において第55回通常総会が開催されました。古謝景春会長の挨拶の後、土地改良功労者表彰が行われ、東田盛正氏（石垣島土地改良区理事）、長濱榮包氏（石垣島土地改良区理事）、安里美津男氏（具志頭村土地改良区副理事長）、宜野座繁氏（宜野座村土地改良区監事）、富原守史氏（本会事業部主幹）の5名の方が表彰されました。議案審議では、第1号議案「平成30年度事業報告、一般会計、特別会計、収入支出決算及び財産目録について」を含む9つの議案が審議され、すべて可決されました。最後に、本会職員による要望書の朗読があり承認されて閉会となりました。



第55回通常総会の様子



土地改良功労者

要請活動、九州農業農村整備事業推進協議会・土地改良事業団体連合会九州協議会合同政策提案会の実施

令和元年5月に、沖縄県における農業・農村振興の実現を目的とした要請活動を沖縄総合事務局や沖縄県に実施しました。また、土地改良事業団体連合会九州協議会のメンバーとして、九州沖縄地区の土地改良事業推進に向けて政策提案会を行っています。これは、各県土連からの代表者が集って関係省庁を訪問し、農村地域の状況やこれまでの農業農村整備事業の効果を説明して今後の整備事業の方向性を提案するものです。毎年2回実施されており、本年度は7月と11月に実施されました。



沖縄総合事務局要請



沖縄県要請



農林水産大臣提案会(11月)

換地事務新規担当者研修会の開催

令和元年度換地事務新規担当者研修会が9月10日～9月13日までの4日間の日程で県土地改良会館4階大会議室において開催されました。県、市町村の換地事務を初めて担当する職員、土地改良区の職員、各地区の役員など約38名が受講しました。研修会内容は、土地改良法、民法、換地理論、農地中間管理事業について、土地改良登記令、農振法など、換地事務を行う上で必要な講義内容となっています。研修3日目の午後には、読谷村の長浜ダム（農業用ダム）周辺の土地改良地区への現地視察を行い、参加者は現地担当者の説明を熱心に聞き入っていました。本研修会を開催するにあたって、お世話になりました講師および研修関係者の皆様に感謝申し上げます。



研修会のようす



現地視察のようす

「令和元年度 多面的機能支払交付金全国研究会」への参加

令和元年11月6日（水）に東京都で開催された『令和元年度 多面的機能支払交付金全国研究会』へ参加しました。本研究会は、農業・農村地域の共同活動を支援する多面的機能支払制度の更なる充実を図るため毎年度開催されており、今回は、制度創設から5年間の総括や効果を行政、消費者の視点から考察し、さらに先進的な活動事例の情報共有を図ることを目的としました。

第二部において、土地改良区との協力体制構築による活動の効率的な推進をテーマに、島根県：出雲市斐川町農地・水・環境保全管理協定より「活動の円滑な推進に向けた土地改良区の役割」の事例発表が行われました。地域を熟知した土地改良区が事務委託を受けることにより、地域の繋がり・連携・協力体制を構築したことによる効果が新たな展望へと繋がっているとの報告でした。



高めよう 地域協力の力！



全国研究会の様子



研修会（録画撮影）の様子

全国研究会の報告をきっかけに、本県での土地改良区と活動組織の連携に関する先進事例として、今年度の当会シンポジウムにて基調講演をお願いすることとなりました。

シンポジウムは研修会（録画撮影）へと変更になりましたが、島根県：出雲市斐川町農地・水・環境保全管理協定の取組を県内の活動組織、行政担当者へも拝聴する機会とし、活動の充実につなげていただくこととしました。

また、来沖いただいた斐川土地改良区の皆さまと、本島南部地域の地下ダムや、耕土流出対策の様子など、沖縄県ならではの農業・農村の現地視察を実施しました。ご協力いただきました皆さま、ありがとうございました。



九州「農地・水・環境保全フォーラム」in 鹿児島への参加

九州各県の多面的機能支払交付金事業の関係部署を会員とする、ふるさと環境フォーラム・九州連絡会主催の『九州「農地・水・環境保全フォーラム」in 鹿児島』が令和元年11月7日（木）に開催されました。

「つなごう水土里 明日への希望とともに」をテーマに、関係者約1,500名が参加して基調講演及び事例発表が行われ、興味深く熱心に聞き入る会場には熱気が溢れていました。

今回初めて、沖縄県も読谷村の【読谷地域農地・水・環境保全管理協定運営委員会】が事例発表を行いました。南国ならではの豊かな自然や世界遺産、大戦、軍用地も抱えた読谷村の村一体となった“羽ばたけゆんたんざ鳳！美しい農地を後世へ”の取組で“日本一の村”を目指していることを発表していただきました。

また、本協議会も今回初めて運営スタッフとしても参加し、他県関係者との連携・交流も大変参考になりました。今回得た情報を、本県の活動充実・地域活性化の参考として有効活用していきたいと思っております。



九州「農地・水・環境保全フォーラム」
in 鹿児島の様子

水土里情報システムについて

水土里情報システムでは、最新の地籍データをもとに農地利用状況などの情報整備を行っています。例えば、作付け作物を地図上において色の違いで示すことで、地域の土地利用状況の把握精度を向上させることができます。さらに、アンケート調査による農家の規模拡大意向を図化することで、地域の農村整備に対する意向をより詳細に把握することができます。また、ドローンにより最新の航空写真（オルソ画像）や動画を提供することも可能です。農地情報や航空写真はタブレット端末でも利用でき、農地中間管理事業、多面的機能支払交付金事業、農地利用状況調査、農地利用意向調査、災害、地元要望聞き取り調査、施設管理・診断など現地調査の効率化が図れます。これらの収集した情報は、クラウドシステムで利用でき、組織間でのスムーズなデータ共有、履歴情報の一元化が可能になります。

上記のサービスによって農地の有効利用の促進、農業の持続的な発展及び農村の振興等を目的とした活動を支援します。ホームページでお知らせしていますので、是非ご覧ください。

UAVによる撮影



圃場整備前(糸満市摩文仁北地区)



圃場整備後(宮古島市村越地区)



糸満市_真栄平地区_ドローン撮影後



糸満市_真栄平地区_ドローン撮影前



石垣市_崎枝地区_ドローン撮影後



石垣市_崎枝地区_ドローン撮影前

第42回全国土地改良大会岐阜大会開催

令和元年10月16日～17日、岐阜県岐阜市にて、第42回全国土地改良大会（岐阜大会）が「清流で未来をうるおす土地改良～水土里の恵みを新たな世代へ～」をテーマとして開催されました。参加者は4,000名以上となり、沖縄県からは、県、市町村、土地改良関係者など約80名が参加され、農業農村整備事業に関する情報収集や視察、意見交換がなされました。

式典では、新垣昇氏（長浜川土地改良区理事長）が、『農林水産大臣表彰』を

受賞されました。本表彰は、平成8年に完成した長浜ダムを同一水源とする5つの土地改良区の運営効率化とダムの有効利活用を推進委員として訴えて県内初となる統合合併に尽力されたこと、さらに、理事長就任後も拡大を続けて村内全域を網羅する改良区に成長させ、産地としての確立に多大な貢献をされたことなどを評価されて授与されたものです。



参加者集合写真



大会、事業視察のようす



農林水産大臣表彰

第43回全国土地改良大会群馬大会開催予定

第43回全国土地改良大会は、群馬県で開催予定です。

＜開催日程＞

令和2年10月14日（水）～16日（金）

14日…大会式典及び交歓会、

15日～16日…事業視察

＜大会式典会場＞

群馬県コンベンション施設「Gメッセ群馬」





「水土里ネットおきなわ」は、
沖縄県土地改良事業団体連合会の愛称です。

みどり
「水土里ネット」は、
全国にある約4,700の土地改良区と
47都道府県土地改良事業団体連合会、
全国土地改良事業団体連合会の愛称です。



● ● ● 農業用水・地域用水など



● ● ● 土地・農地・土壌など



● ● ● 農村空間・農家や地域住民が一体となった
生活空間など

「水土里」

● ● ● 豊かな自然環境、美しい景観を意味し、
おいしい水、きれいな空間など清廉な
イメージを表現しています。

■事務所所在

本所
〒901-1112
沖縄県島尻郡南風原町字本部453番地3
TEL.098-888-4511 FAX.098-835-6070

八重山支所
〒907-0004
沖縄県石垣市字登野城1263-1
TEL.0980-82-6070 FAX.0980-84-1089

宮古支所
〒906-0012
沖縄県宮古島市平良字西里1440-1 (JA会館2F)
TEL.0980-72-8697 FAX.0980-74-2111

